

第2回検討会 事業者・有識者コメント

事業者
コメント

データ連携に関わる課題・要望

バス事業者

- ✓ バスの決済手段やIC連携がガラパゴス化することで、鉄道などの連携がうまくいかなくなるのは避けたい。
- ✓ オンデマンド交通や自動運転など、新しいバス交通モードの登場で、利用手段の多様化など研究開発も喫緊の課題
- ✓ 「標準化」と「データ連携（有償無償問わないオープン化）」が重要
- ✓ 連携における競争領域と協調領域を意識して取組みを進めるべき

検討の Scope

- ✓ 将来（10年後程度）を見据えた検討するのであれば、将来起こり得る環境変化（人口減少・デジタル化の進展・デジタル通貨による決済の変化・取引情報の連携の推進等）を念頭においた公共交通のあり方等について検討することが重要。
- ✓ 将来を見据えるのであれば、スマートシティ・Fintech・防災情報の活用などの進展も想定される。
- ✓ データ連携やデジタル化が、生産性を向上させる等の各事業者の経営を支援する手段となり得るかという視点も重要。
- ✓ 各社で競争する販売手法の独自性や顧客接点等を尊重しつつ、協調して進めたほうが良い事項について検討することが重要。この点、連携しようとしたときに、連携可能な状況にしておくという視点が重要。
- ✓ 災害時における対応等、各事業者で共通してコスト削減等の効果がある事項は協調して検討を進めやすいのではないかな。
- ✓ 業務フローの見直しなど、これまでの業務のやり方を変えることを含めて検討するのが良い。

検討の論点

- ✓ 利用者情報の連携に当たり、個人情報に対する留意が必要。個人情報保護委員会等との連携をしてもよいのではないかな。
- ✓ データ連携をより前に進めるためには、交通事業者及び利用者にもリスクが生じないことが重要。個人情報保護や、新たに生じ得るリスク等について十分な留意が必要。
- ✓ 交通事業者の中には、1社単独でデータ連携に対応するのは難しい場合もあることから、事業者間で共通の基盤を構築することを検討してもよいのではないかな。
- ✓ チケットングの際に取扱われる情報は、交通モードによって詳細度が異なることが想定される。検討に当たっては、連携する情報の詳細度に留意が必要。
- ✓ データ連携の効果として、移動に関わるデータを活用できるようになることも重要。この際、ID等の利用者情報とOD等の移動に関わる情報が紐づけられることが重要。

今後の検討に向けて

- ✓ 論点を絞って情報収集や詳細な検討を行う場として、各団体と定常的に検討を行えるWG等を別途設けてもよいのではないかな。

有識者
コメント

中間とりまとめに向けた骨子案

第1 検討の趣旨・背景

第2 これまでの取組と現状

- 1 交通系ICカードの普及
- 2 日本版MaaSの推進
- 3 多様なチケットング手法の登場
 - (1) 事業者における取組や将来構想
 - (2) 手法に応じたユースケースや長短
 - (3) 利用者ニーズ
 - (4) 制度上の取扱
- 4 リアルタイムデータ利活用場面の多様化
 - (1) 事業者における取組や将来構想
 - (2) 国等における取組
 - (3) 利用者ニーズ
- 5 海外や他分野の事例やその概況
 - (1) 海外事例
 - (2) 他分野事例

第3 将来的に想定される懸念と望まれる絵姿

- 1 現状想定される課題や懸念
- 2 協調領域と競争領域について
 - (1) ガイドライン等における考え方
 - (2) チケットングにおける要素の分類、考え方
 - (3) リアルタイムデータにおける要素の分類、考え方
- 3 検討の範囲
 - (1) 想定する期間と留意すべき社会情勢の変化

- (2) 対象とする場面
- (3) 対象とする領域

4 望まれる絵姿

- (1) 総論
- (2) データ連携の高度化の意義、長短
- (3) 実現の絵姿

第4 絵姿を見据えた場合の課題と留意すべき事項

1 チケッティングに係るデータ連携体制・手法

- (1) 想定される連携のパターンや方法
- (2) 連携が必要となるデータ
- (3) 必要となるシステム要素
- (4) 不正利用対策
- (5) システムの安定性

2 リアルタイムデータに係るデータ連携体制・手法

- (1) 連携が想定されるデータの内容
- (2) ユースケースとそれに応じたデータの取扱
- (3) データの連携体制について

3 セキュリティや個人情報等への留意

- (1) システム構成上の工夫
- (2) 関係者、システムに求められるセキュリティ対策
- (3) 個人情報、プライバシーへの配慮

第5 検討すべき論点や方向性

1 官民の役割、取組の優先度について

2 今後について

- (1) 共通化等が望まれる部分について
- (2) WG等による議論の継続が望まれる部分について
- (3) その他今後期待される部分について